



岐阜北週報

3月 識字率向上月間

□ 題 字	原尾 勝	□ 会 長	原尾 勝	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	河村 訓陸	2013-2014
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	安藤 武司	No.1530
		会報委員長	前田 吉彦	14.3.12発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1529 回 例会 3/5(水) 慶祝行事 クラブフォーラム(10) 担当：米山奨学委員会	第 1530 回 例会 3/12(水) 卓話(8)「岐阜北RCとの出 会いがあってこそ今の私がある」 岡山大学教授・大竹喜久様 担当：片桐	第 1531 回 例会 3/19(水) 卓話(9) 100万\$ 担当：久世・西垣

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

今年もあつと言う間に2ヵ月が過ぎ、3月3日は、上巳(じょうし)、桃の節句でひな祭りです。女の子やお孫さんがいる家庭では御祝いをされたのではないのでしょうか？また明日は、啓蟄(けいちつ)です。冬ごもりしていた虫たちが暖かくなって穴からでてくると言う事ですが今年の冬は、本当に寒い日が続きました。明日は、少し寒いようですが春も目の前まで来ていると言う感じで嬉しい限りです。

ソチでの冬季オリンピックが終わりましたが7日(現地時間)からパラリンピックが始まります。5競技、72種目に45カ国から約750人の選手が参加します。日本からは、アルペンスキー、クロスカントリー、バイアスロンの3競技に20名の選手が参加致します。注目は、時速100キロメートルを超えて滑降する、アルペンスキー。座位競技者は、チェアスキーという特殊な用具で滑ります。この技術を支えているのが日本のメーカー、北名古屋市にある日進医療器です。世界中の選手の約3分の1が使用しているとの事です。特徴は、1枚のスキー板と座るシートの間を繋ぐフレームとバネ。従来のものは、体重を前にかけて板を操作しますが日本製は、ターンの時、体重を後ろにかけてバネを縮ませて操作する、という事で乗りこなすのは難しいがターンで凄く威力を発揮するマシンであるとの事です。

アルペンでは、ベテラン、森井大輝(もりい

会長挨拶 続き

たいき)選手、狩野亮(かのう あきら)選手。クロスカントリー・バイアスロンでは、新田佳浩(にした よしひろ)選手、太田渉子(おおた しょうこ)選手等にメダルが期待出来そうです。初出場の選手5名の内、4名が高校生、その内のひとりである岩本啓吾(いわもとけいご)選手は岐阜の飛騨神岡高校の18歳。ロータリーとしては、彼等障害者の支援をしている訳ではないですが是非、応援して行きたいと思っております。以上で会長挨拶を終わります。有りがとう御座いました。

出席報告

会員数：33名
出席数：29/33名
出席率：87.88%
欠席者：4名(出席免除1名 90.91%)

慶祝行事（敬称略）

岐阜北ロータリークラブ 3月 お祝い

1. 会員誕生日のお祝い

3月 7日 岡田 一二三 様
3月23日 永瀬 章 様

2. ご夫人誕生日のお祝い

3月24日 林 久子 様

3. 結婚記念日のお祝い

3月 2日 川島 明雄 様
3月11日 白木 昭三 様
3月16日 原尾 勝 様
3月24日 小泉 宣昭 様

ニコニコBOX（敬称略）

小島 正三：今日のクラブフォーラム担当は「米山奨学委員会」です。宜しく！
白木 昭三：結婚記念日を祝っていただき、ありがとうございます。
永瀬 章：誕生日を祝っていただいて。
若山 和正：今日も元気で。
辻 博：先月28日に還暦をむかえました。
松野 秀計：永瀬さんありがとうございました。

例会行事（敬称略）

米山奨学委員会

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

（1）日本在留の外国人留学生にロータリアンの寄付金を財源とした奨学金を支給して支援する民間奨学団体である。

（2）奨学金の支援対象は、日本の大学・大学院で学ぶ外国人留学生で、毎年約700人の私費外国人留学生を採用し、日本のロータリアンとの交流により、将来、日本と世界を結ぶ架け橋となる人材を育成している。

（3）当会は、1952年に東京ロータリークラブが日本ロータリーの創設者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始めた国際奨学事業で、国内の全ロータリー地区の合同事業に発展したもので約60年の歴史を持っている。

2. 米山記念奨学事業

（1）国際ロータリーの認める多地区合同活動（日本の全地区が関わる活動）である。

例会行事 続き

（2）「世話クラブ・カウンセラー」制度（奨学生1人に地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーがついて、奨学生の日本での生活が心豊かなものになるようアシストする）

（3）民間最大の国際奨学事業（外国人留学生に奨学金を支給する民間奨学団体は数多くあるが、多くの奨学団体の採用数は数名から数十名規模で、約700人の奨学生採用数は突出している。）

3. 寄付金と財政の状況（2012年度決算収支）

（1）収入の部・・・寄付金収入：13億2500万円 利子収入：8600万円

（2）収出の部・・・当期費用合計14億2500万円 奨学事業費13億5900万円

（奨学金：11億5300万円 その他事業費：2億600万円＜地区等補助費：1億2500万円 広報関係費：2300万円 人件費：4900万円等＞

（3）公共性・・・当期費用合計（14億2500万円）に対する事業費（13億5900万円）の割合が95.4%（新公益法人の基準：事業費割合が5%以上）であり、公益性が極めて高い。

（4）個人平均寄付額・特別寄付者割合
個人平均寄付額：15046円（4年ぶり1500円超え）特別寄付者割合40%超え

（5）寄付金収入に見合った支援規模
2013年度より800人から700人に引き下げた。

4. 米山記念奨学会への寄付

「普通寄付金」半期に一度各クラブで決定した一人分の金額を会員数寄付する。

「特別寄付金」任意：個人・法人・クラブ寄付の3種類で額はいくらでもよく、累計額につき表彰制度がある。

「表彰制度」

（1）累計10万円・・・第一回米山功労者（以降10万円ごとに表彰）

（2）累計20万円～90万円（第2～9回マルチプル）

（3）累計100万円・・・第10回米山功労者メジャードナー

（4）2007年7月に表彰制度の一部改正があり、累計3万円で「準米山功労者」の名称が復活。

例会行事 続き

「税制優遇制度」

(1) 所得税（個人）、法人税（法人）及び相続税につき税制優遇が受けられる。

(2) 確定申告用の領収書は、毎年1月末までにクラブ宛送付される。

5. 米山学友

(1) 巣立った学友・・・約1万7千人

(2) 米山学友を中心に設立されたクラブは台湾2つ、日本に2つ

(3) ロータリアンになった米山学友は140人（2013年8月現在）台湾72人・韓国27人・中国24人

(4) 米山学友会・・・米山奨学生の同窓会組織があり、国内に30、海外に4設立されて、奨学期間終了後も地区と連携しながらロータリアンと学友が継続して交流イベント等様々な地域奉仕活動を行っている。

6. 奨学金プログラム

(1) 主な米山奨学金プログラムの募集・選考には指定校推薦制度が導入される

(2) 奨学金・・・学部課程：10万円 修士課程：14万円（3課程で695人） 博士課程：14万円 地区奨励：7万円（10人）
クラブ支援：14万円（8人）外

(3) 合格者決定・・・例年7月に各ロータリー地区の選考委員会が指定校を決定し、指定校から推薦された候補者を各地区のロータリアンが面接選考して合格者を決定する。

次回例会のご案内

第1531回 例会 3月19日（水）

卓話（9）100万\$

担当者：久世・西垣

会報・広報 3月担当 松野 秀計